

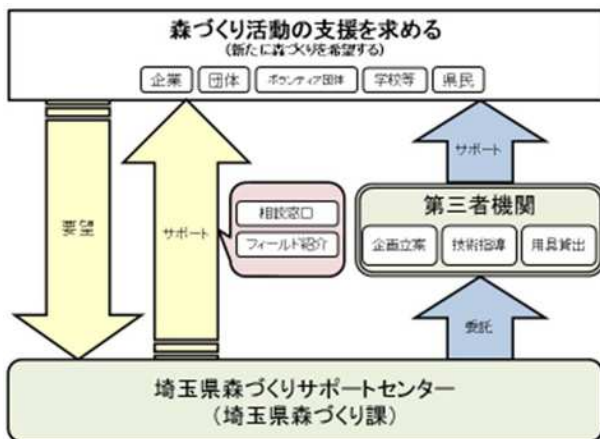
みんなで育てる森づくり事業 ー森林ボランティア活動の拡大ー

担当 森づくり課 森林活動支援担当
電話 048-830-4310

企業・団体による森林づくり

企業・団体による森づくりの推進

森づくりサポートセンターが企業・団体による森林づくりをコーディネート



森づくりに参加する企業数

県内で森林づくりに参加する企業が増加している

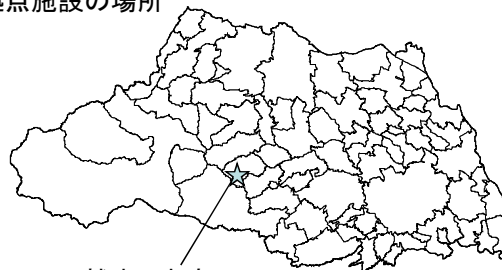
H20 41団体 → R5 93団体 (約2.3増)

森林ボランティア活動拠点施設の管理

森林の中の拠点施設



拠点施設の場所



越生ふれあいの
里山

拠点施設の活用例

- 森林ボランティアの安全講習・技術向上の場
- 活動時の休憩スペース、荒天時の避難場所
- 大学等の研究活動拠点

森林ボランティアの育成

背景

県内で森林ボランティア活動への参加意欲が増加している

H20 42団体 → R5 169団体 (約4倍増)

森林ボランティア団体の活動支援

事業内容

- 1 森林ボランティア育成支援
これから森林ボランティア活動に取り組もうとする団体が、活動を始めやすいよう、活動に必要な道具の購入、知識や技術の習得に対して支援する
- 2 森林ボランティア活動支援
森林ボランティア団体が、継続して活動するために必要な消耗品に対して支援する

事業主体 民間非営利団体

補助率 定額

事業期間 平成20～令和5年度(91団体に交付)



森林ボランティア活動状況



技術研修の受講

県民参加による森づくりの促進

水源地域の森づくり事業

- 手入れの遅れやシカの被害等により荒廃し緊急に整備が必要となっている水源地域の森林や不成績造林地を対象として、針広混交林を造成し広葉樹の森等を再生することにより、水源かん養、土砂流出防備などの公益的機能の高度発揮や、スギ花粉の削減、景観向上等を図る。

現状と課題

- 手入れ不足の人工林



下草が生育せず、表土が流出し根が露出した森林



シカの食害により、裸地化しやがて表土が流出する

これまでの取組

- 県内の民有人工林57,000haのうち、公益的機能の持続的発揮が危惧される高標高地域など条件不利地、いわゆる水源地域17,000haを対象に森林整備を推進

【実績】

- ・H20～R4 針広混交林化及び再生を図った森林 11,168ha



施業前



1回目施業後



針広混交林移行中

今後の取組

- 針広混交林造成 451ha【継続】

223,967千円(309,498千円)

人工林を強度に間伐し、針葉樹と広葉樹が混じりあった針広混交林を造成する

- 荒廃森林再生 90ha【継続】

85,583千円(56,636千円)

獣害により植生回復が困難な箇所において①広葉樹植栽、②獣害防止柵の設置、③柵の修繕、④主林木保護を実施する。

- 調査費 5,000千円(5,000千円)

- 事務費 2,599千円(2,660千円)



針広混交林の造成



荒廃森林の再生

水源地域の保全・整備、公益的機能の高度発揮

317,149千円(繰入金:317,095千円)

森林循環利用促進事業

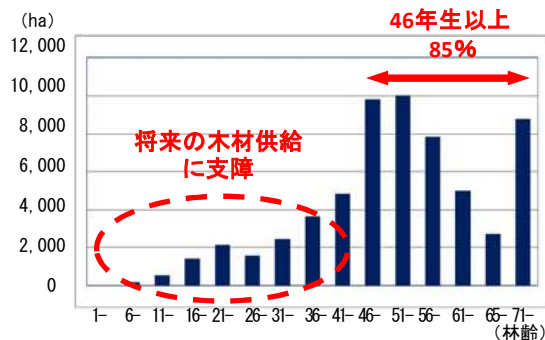
- スギ・ヒノキ人工林の約8割が伐期を迎えているが、木材価格の長期低迷等により伐採が進まず森林の少子高齢化が進行
- 森林を若返らせてCO₂吸収力を高め温暖化の防止等に寄与するとともに、「伐って・使って、植えて、育てる」循環利用の促進と山村地域の活性化を図り、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献

現状と課題

- 木材価格の長期低迷
木材販売収入が少なく再造林費の捻出が困難

木材価格(円/m ³)	S55	R1
スギ	37,900	9,700
ヒノキ	63,400	13,400

- 森林の少子高齢化が進行
CO₂吸収力低下、将来の木材供給に支障



これまでの取組

- 皆伐・再造林補助(旧皆伐から始める森の若返りスピードアップ事業)
伐採から植栽までを集中して行い効率向上を図る「一貫作業システム」に取り組む林業事業者を支援
【実績】
 - ・H27～R4 約227haを再造林
 - ・一貫作業システムに取り組む事業者が増加
- 保育補助(旧美しい森づくり事業)
間伐等を支援、健全な森林を育成
【実績】
 - ・H27～R4 約984haを整備

今後の取組

- 皆伐・再造林補助 50ha【継続】
162,074千円(144,890千円)
一貫作業システムによる皆伐・再造林に取り組む林業事業者を支援、森の若返りと林齢の平準化を図る
 - ・残材搬出・運搬・作業道開設
 - ・地拵え・植栽・下刈り
 - ・獣害防止柵設置



- 保育補助 118ha【継続】
69,215千円(69,215千円)
従来の手法に加えて、森林経営管理制度に基づく間伐等を適切に実施、森林資源の充実と質的向上を図る
 - ・保育間伐・搬出間伐
 - ・枝打ち・除伐



- 事務費 2,584千円(2,631千円)

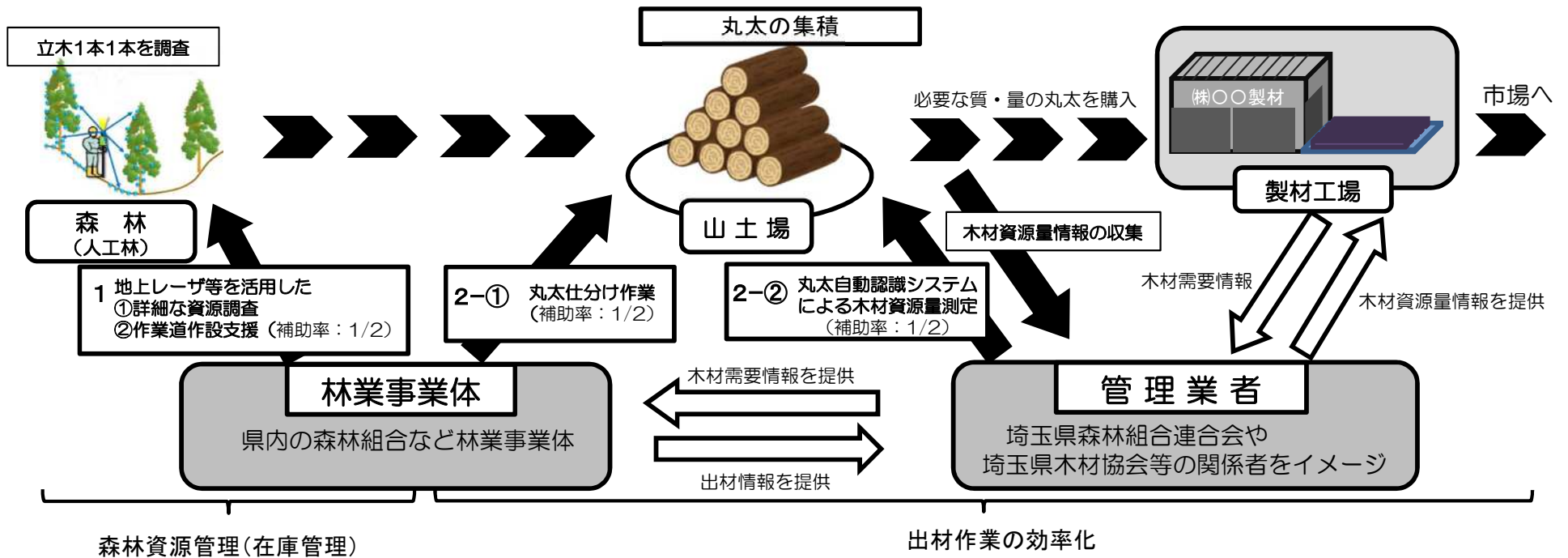
森林の循環利用を促進・山村地域を活性化

令和6年度予算額 233,873千円
(国庫補助金:89,767千円、繰入金:105,534千円、県債:29,000千円、一般財源:9,572千円)

県産木材供給拡大事業（素材生産活性化事業）

1. 森林資源管理の支援 2,802千円
 - ①地上レーザ等を活用した立木1本1本の詳細な資源調査を行う林業事業者に対して、費用の1/2を補助
 - ②地上レーザ等を活用した作業道作設ソフトを用いて作業道を整備する林業事業者に対して、ソフト導入費用の1/2を補助
2. 出材作業の効率化支援 2,180千円
 - ①山土場で丸太仕分け作業を行う林業事業者に対して、費用の1/2を補助
 - ②仕分けした丸太の材積を丸太自動認識システムで測定する管理者に対して、費用の1/2を補助
3. 県内先行事例の普及 160千円
ICTを実装した事業者の事例報告会及び事業者間の意見交換会の開催（県事務費）

木材流通の流れ



担当 森づくり課 木材利用推進・林業支援担当
電話 048-830-4318

目的

住宅建設に携わる工務店等に対して県産木材の利用量に応じた支援を行い、安定した需要のある民間住宅等における県産木材の利用拡大を図る。

事業概要

1 県産木材活用住宅等支援事業

53,780千円

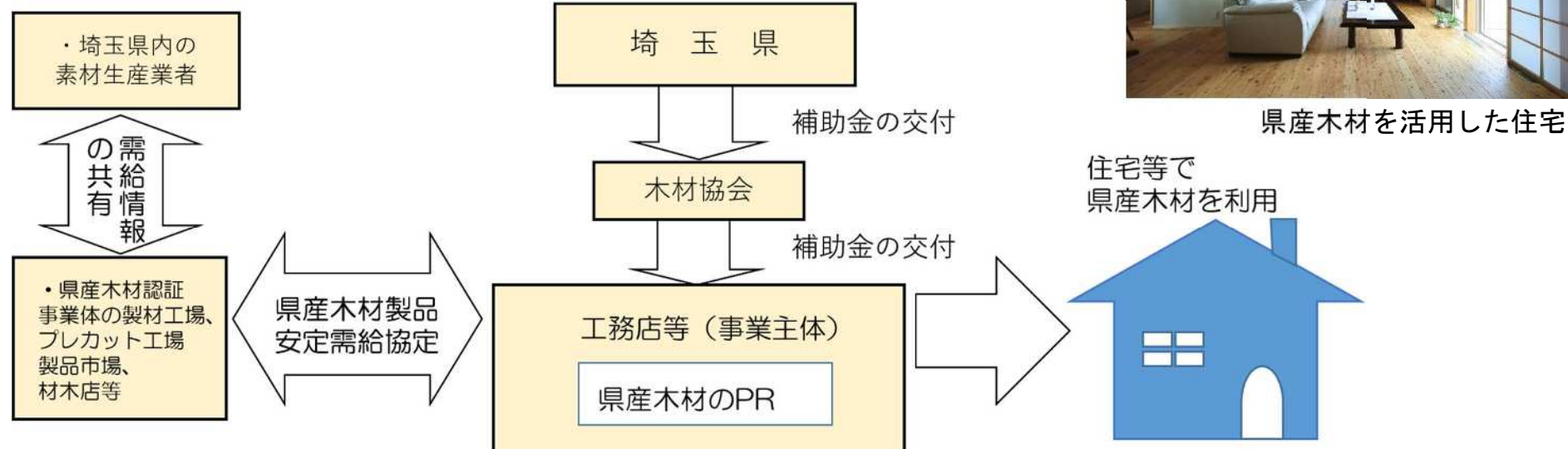
住宅・事務所・店舗等の新築・改築・内装木質化について、製材工場等と協定を締結し、県産木材を40%以上利用する工務店等に対する支援を行う。

〔前事業「埼玉の木みんなを使って豊かな暮らし応援事業」との変更点〕

- ・補助対象を施主から工務店等へ変更
- ・県産木材の利用割合に応じた補助単価を新設（40%枠、60%枠、80%枠）



県産木材を活用した住宅



担当 森づくり課 木材利用推進・林業支援担当
電話 048-830-4318

目的

県産木材の供給体制を見直し、県産木材の供給量を増やすとともに工務店等が県産木材を入手しやすい仕組みを構築することで、ウッドショック下で品不足となった輸入木材から県産木材への転換を図る。

事業概要

1 輸入木材に頼らない県産木材供給体制促進事業 41,244千円

(1) 木材加工施設の整備 30,094千円

県産木材を活用した新たな製品や、高品質の製品を加工するための施設整備費を支援する。

(2) サプライチェーンの構築 11,150千円

山元、製材・プレカット工場、工務店等の連携による新たな流通ルートの確立に向けて、必要な資機材の導入経費等を支援する。

【木材加工施設整備のイメージ（乾燥施設）】 【サプライチェーンの構築のイメージ】

